

鹿児島市におけるオオキンケイギクの分布調査

大屋 哲*

The distribution of *Coreopsis lanceolata* in Kagoshima-city Kagoshima Prefecture

Satoshi OHYA

はじめに

国内に生息・生育する外来生物は、海外から持ち込まれただけでも、約2000種以上あると言われている。この中には、ペットや観賞用、食用などのために持ち込まれたものや何かに付着して知らず知らずのうちに入り込んだものもある。

現在、これらの動植物が増え、在来種が減少するなど生態系に悪影響を与えている。本館では、平成20年に鹿児島県の外来生物の現状やその影響、今後懸念されることなどをテーマに企画展「外来生物 身近に迫る侵略者たち」を開催した。その際、2005年に施行された外来生物法で「特定外来生物」に指定されている種について動物、植物の分野ごとに分布調査を行った。

植物分野では、特に、鹿児島県内でよく見かけ、人々に馴染みのあるオオキンケイギク (*Coreopsis lanceolata*) の分布調査を行うことにした。

オオキンケイギクは、北アメリカ原産で観賞用として明治の頃に日本に入ってきたといわれ、法面の吹きつけなどにも利用される植物である。鹿児島では、しばしば「特攻花」と呼ばれ、

植栽されたり、生け花などに使われたりするなど親しまれている植物である。しかし、関西などでは、河川敷などに侵入し、在来種への影響を与えているところもある。

そこで、2008年5月末から6月の開花期にあわせ、鹿児島市での状況を把握する目的で分布調査を行った。植栽・自生、また株数等を問わず、分布していた場所を地図に記録することにした。この調査で得られた若干の知見を報告する。

尚、調査に際しては、本館6人の職員及び協力者(学校職員)で調査を行った。協力に深く感謝する。

尚、調査に際しては、本館6人の職員及び協力者(学校職員)で調査を行った。協力に深く感謝する。



1 調査地の概要

鹿児島市は鹿児島県本土の中央部に位置し、旧吉田町から旧喜入町まで南北に長く約51kmに達する。市街地は、鹿児島湾に面した平野部にあり、周辺部の始良カルデラの噴出物からなるシラス台地には住宅地などがある。調査地はいろいろな環境を調べるため、内陸部や海岸部を含む市街地や住宅地、工業団地などの主要道路沿いと鹿児島市を流れる河川沿い、桜島周辺などとした。

2 調査方法

ルートセンサス法

※徒歩、自転車、原付バイク、自動車等を利用した分布地点の調査。

自動車の場合は、二人一組を行った。一人が運転し、一人が植栽、自生または、量についても関係なく分布地点は地図上に印をつける方法をとった。

自転車、原付バイク、徒歩等の場合は一人で調査を行った。

3 結果

分布地点は図1~図4である。内陸や海岸、北部や南部など地域間での生え方にあまり差はなくどの地域にも生えていた。全体的に次のような傾向が見られた。

[分布の多い地点]

- 日当たりのよい場所
 - ・定期的に刈り込みが行われている道路沿い
 - ・人家や集落周辺、集落近くの草地
 - ・川の土手
 - ・花壇及び道路と歩道のすき間など

[分布の少ない地点]

- 林縁部
- 林内
- 休耕田や河川敷など



* 〒892-0853 鹿児島県鹿児島市城山町1-1 鹿児島県立博物館

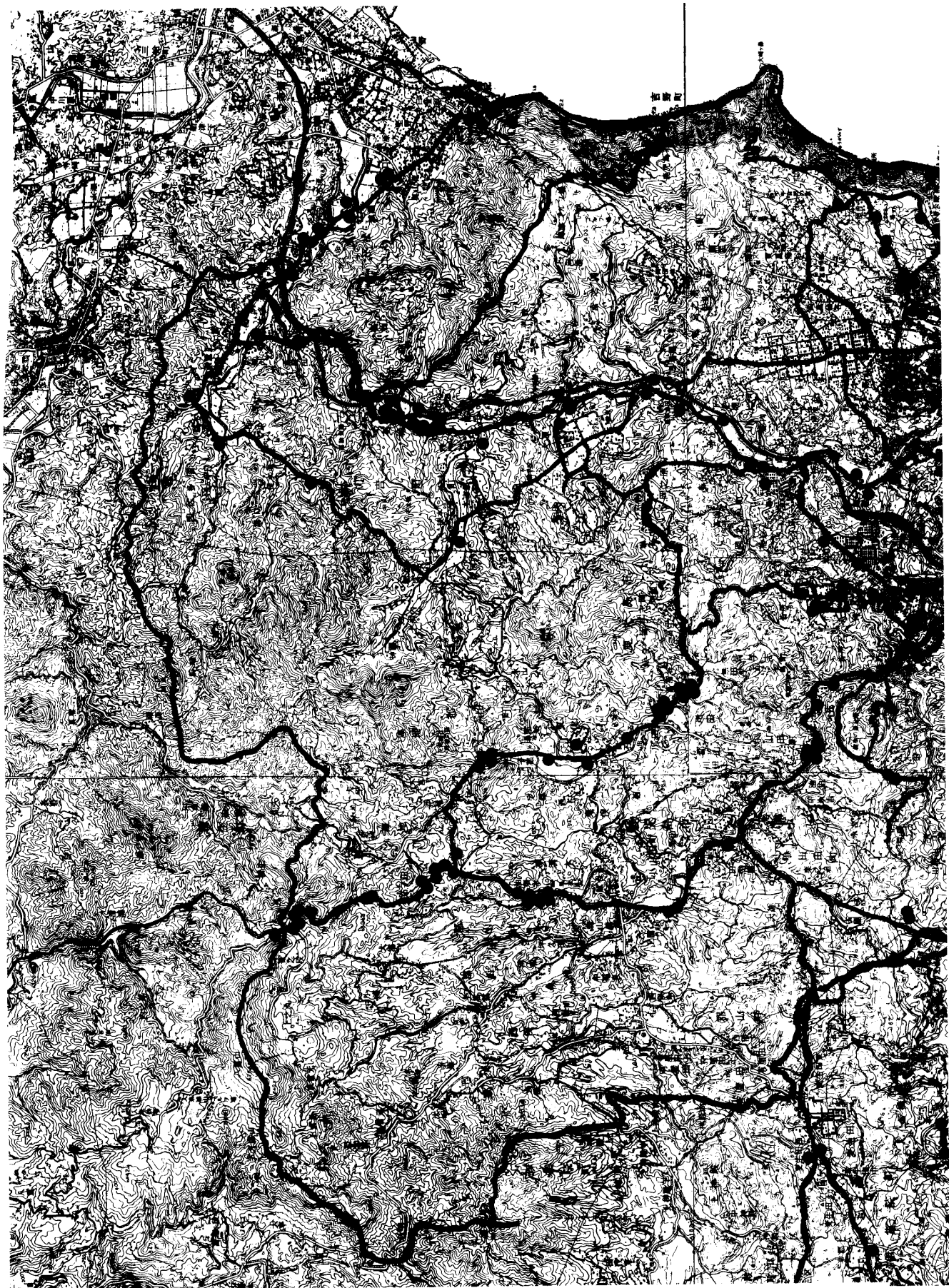


图1 北部

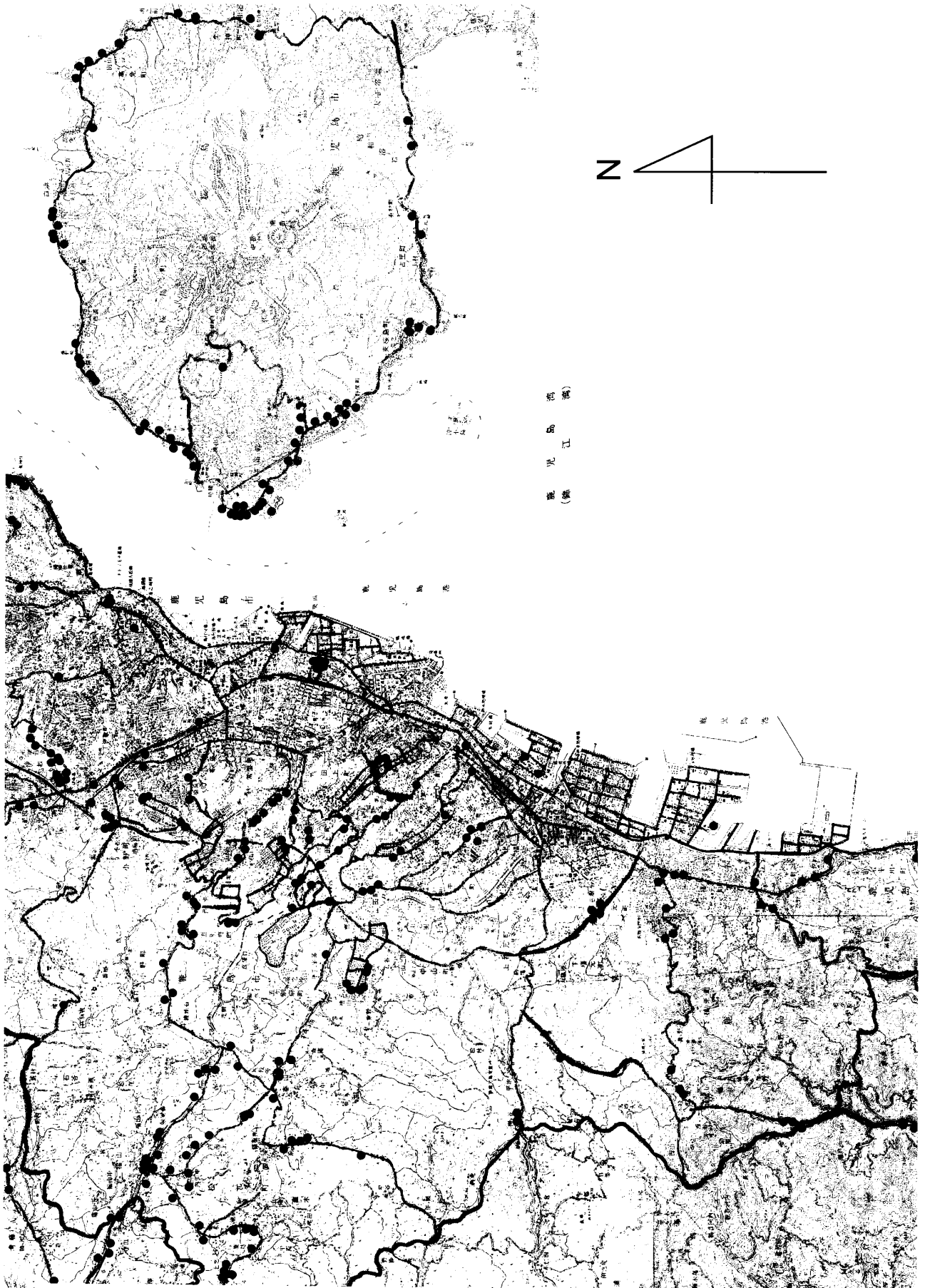


图 2 中央部

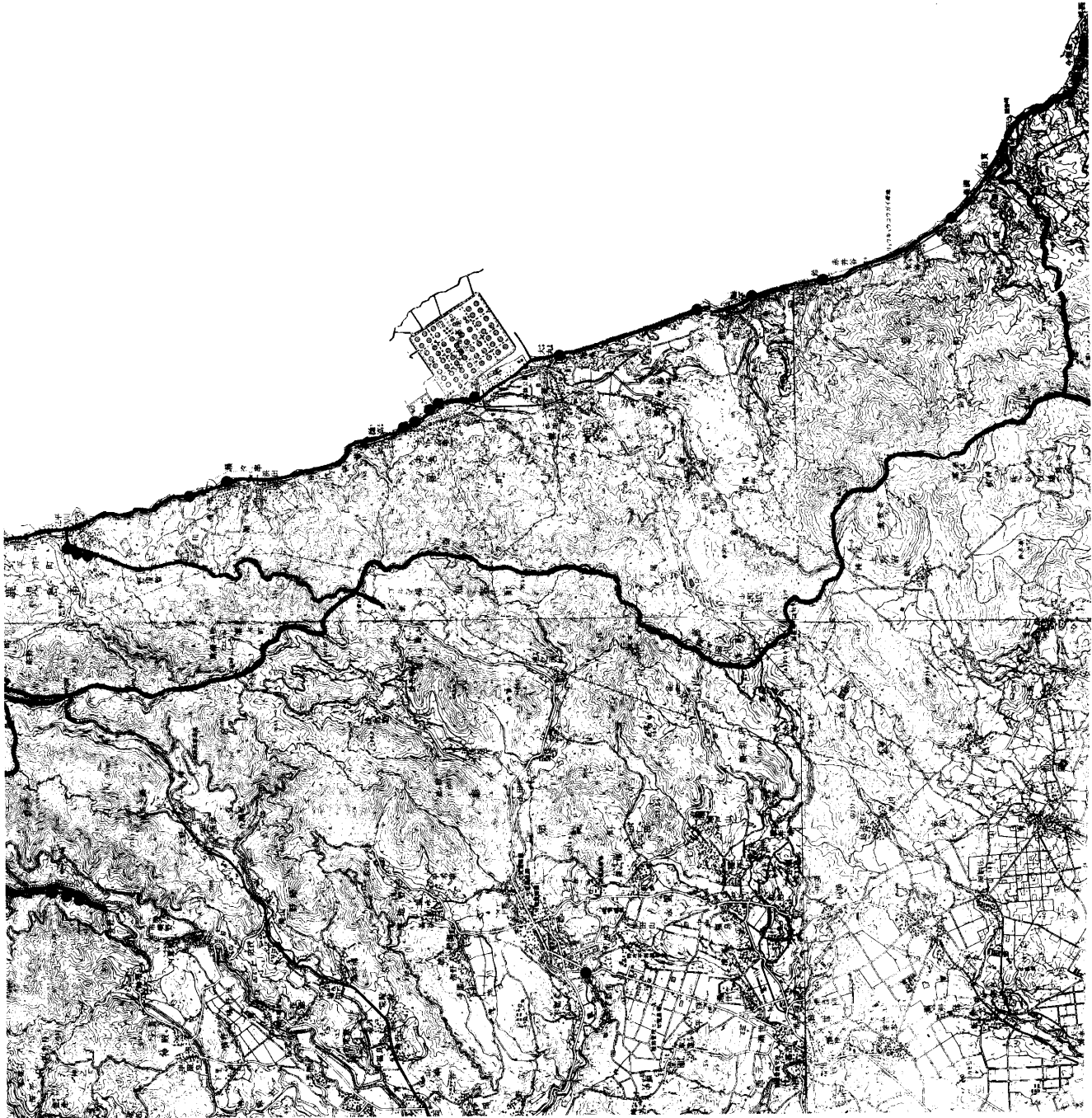
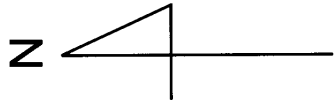


图3 南部

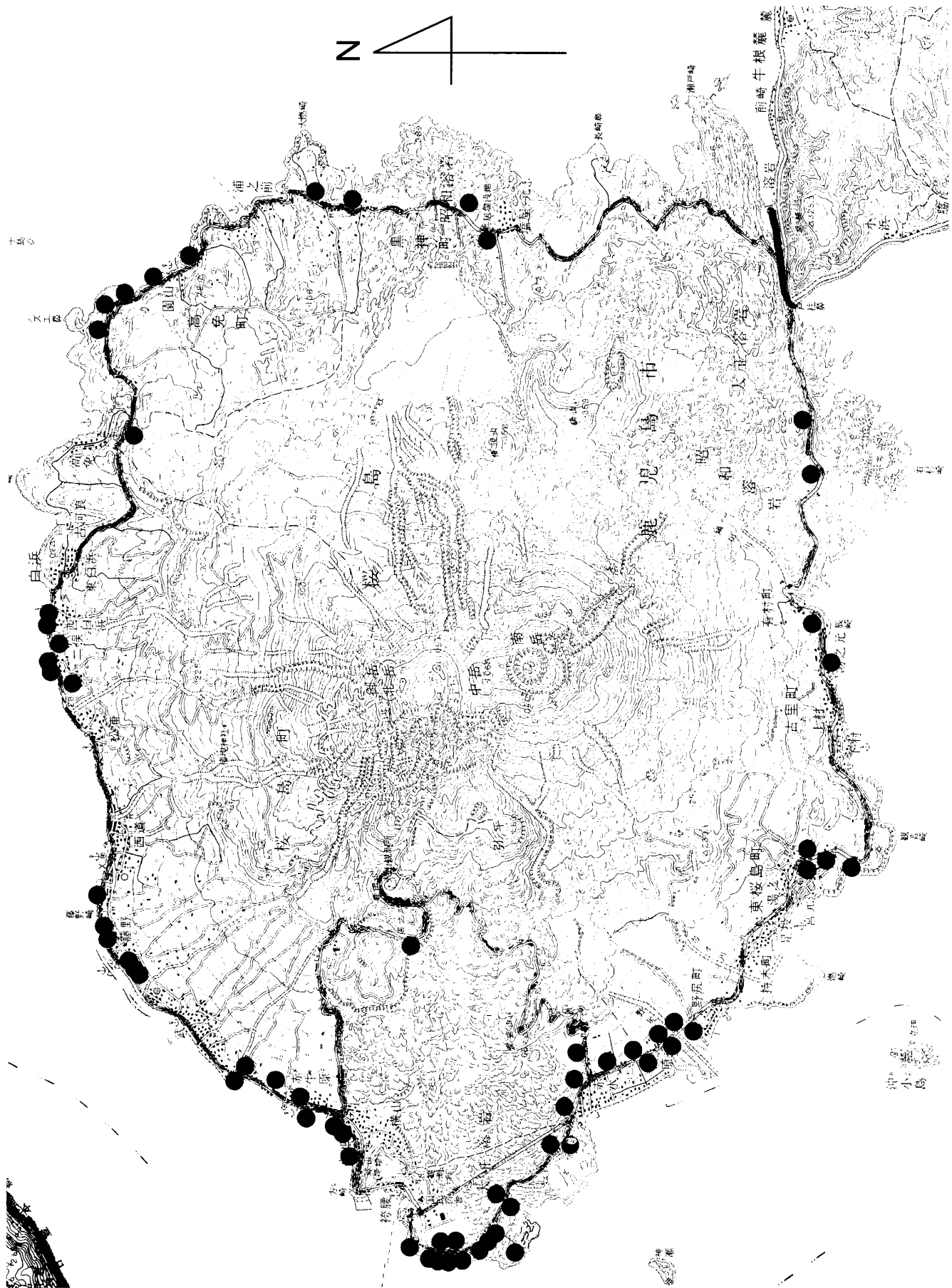


图4 校島地区

4 考察

今回の調査から、オオキンケイギクは休耕田などセイタカアワダチソウなどの背の高い植物が生える場所や高い樹木が日を遮るような林縁部や林内では、光を求める競争に負けてしまい成長できないと考えられる。

また、関西などでみられる河川敷への侵入は、鹿児島市の河川では確認されなかった。これは、休耕田などと同様に背の高いツルヨシやセイコノヨシなどが生育するため侵入できず、加えて侵入できる河川敷でも、鹿児島市の河川は急峻でよく増水し河川敷を洗うため、定着できないものと考えられる。

おわりに

今回は分布地点の記録のみであったが、オオキンケイギクの生活史の調査、他地域との分布状況の比

較、鹿児島市の河川より大きな河川への侵入状況の調査など、総合的に調査していく必要があると感じた。今後も、鹿児島市での拡がり方を継続的に調査したい。

参考資料、参考・引用文献

- 1) 環境省外来生物ホームページ
- 2) 初島住彦(1986) 改訂 鹿児島県植物目録 290pp
鹿児島植物同好会 鹿児島
- 3) 外国からやってきた生き物たち 10pp 環境省
- 4) 外来生物法パンフレット 環境省・農林水産省
- 5) 日本の帰化植物 p201 平凡社 東京
- 6) 帰化植物図鑑 p19 北隆館 東京
- 7) 原色帰化植物図鑑 p67 保育社 大阪
- 8) 離島の豊かな発展のための学際的研究 p99～115
鹿児島大学 鹿児島